



総代の役割を確認 全地域集し「総代研修会」を開催



「総代研修会」を全地域合同で行うのは初めて

J Aは11月29日、総代が一堂に会し花巻市で「総代研修会」を開きました。各地域の総代や常勤役員、J A職員など約350人が出席しました。高橋勉組合長は「J A経営と今後の戦略」と題して講話。経営環境や今後の戦略を説明し、「やっぱりJ Aがあつて良かったと言われるように、いろいろな情報交換を行い、本音で話し合いをしよう」と呼び掛けました。三浦正寿常勤監事は、日本農業新聞が発行する「総代になったあなたに」を使い、総代の役割を説明しました。

総代研修会は、総代としての見識を深め、J Aへの参画意識を高めることを目的として開催しました。

女性部活動の活性化を目指す 常勤役員・女性理事と意見交換会



高橋組合長(右)の話に耳を傾ける部員たち

女性部は12月11日、花巻市で常勤役員と女性理事との意見交換会を開きました。

各地域の支部長や常勤役員、女性理事など26人が出席。意見交換では、支店統合について使用しなくなる店舗を女性部で気軽に使用して良いか、定期的に開催していた産直活動を今後どのように活動していけば良いのかなどの質問が出ました。特に、全地域共通で部員減少の課題が挙げられました。

高橋勉組合長は「女性の力、発想の中で事業を展開していくのは大事なところ。活動を盛んにすることが女性部の活性化に繋がる。今後ぜひ活発に活動して欲しい」と呼びかけました。

地元産農畜産物をパワーに! 目指せ全国勝利 全国大会出場校に贈呈

J Aいわて花巻とJ A全農いわては、ラグビーとサッカーの全国大会に県代表として出場する高校に、北上市産米「ひとめぼれ」120kgと県産豚肉1頭分、金一封を贈り、全国での活躍を祈願しました。

12月10日には本店(花巻市野田)で贈呈式を開き、「第99回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に出場する黒沢尻工業高校に贈呈。J Aの高橋勉組合長とJ A全農いわての高橋司副本部長が鈴木虎鉄主将に目録を手渡しました。

高橋組合長は「おいしいお米とお肉を食べてパワーを付け、力を十分に発揮して頑張ってほしい」、高橋副本部長は「岩手のおいしい農畜産物を食べて、持てる力を十分に発揮してほしい」と激励。

鈴木主将は「おいしいお米とお肉を食べて、ベスト8以上を目指して頑張る」と意気込みました。

また、12月18日には専修大学北上高校(北上市新穀



黒沢尻工業高校ラグビー部に贈呈



専修大学北上高校サッカー部に贈呈

地元産の大豆をもっと消費しよう 女性部宮野目支部が豆腐の先生

女性部宮野目支部は12月4日、花巻市立宮野目小学校の3年生53人と地元産の大豆を使った豆腐作り体験授業を行いました。

部員8人が豆腐作りの先生となり、児童たちは水に浸した大豆をミキサーですりつぶすところから豆腐作りを体験。先生から「温度を確認してね」「8の字をかくように混ぜて」などとアドバイスを受け、温度管理やかき混ぜる作業を交代で行い、工程ごとに搾りたての豆乳、おから、出来たての豆腐を食べ、大豆のおいしさを味わいました。

豆乳やおからを食べたことがない児童がほとんどでしたが、「おいしい」「もっと食べたい」とおかわりをしていました。阿部天陽さんは「作り方を知ることができ楽しかった。皆で作ったから、こんなにもおいしく出来たと思う」と笑顔を見せました。



こじるを木綿の袋に入れる児童

J A管内から多数の受賞者 「令和元年度いわて農林水産躍進大会」で表彰



県知事表彰を受ける高橋元組合長

いわて農林水産振興協議会と岩手県は12月20日、盛岡市で「令和元年度いわて農林水産躍進大会」を開きました。同大会では、6部門で表彰を実施。

当J A管内からは、「岩手県農林水産業表彰」「いわて農林水産振興協議会会長表彰」「いわて中山間賞」「岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞」「岩手県アドプト活動モデル賞」の5部門で、7人と7団体が表彰を受けました。

そのうち、高橋専太郎元組合長は「岩手県農林水産業表彰」を受賞。J A経営の健全化に努めるとともに、農家組合員の所得向上と農業経営の安定化に尽力したとして、達増拓也県知事から表彰状を受け取りました。